

腔式子宮摘出術 ・ 腔形成術 クリニカルパス

婦人科

様の、入院から退院までの予定です。

* 状態により、予定が異なることもございます。

日付 曜日	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	
	前日	当日	1病日	2病日	3病日	4病日以降
達成目標	①手術について理解できる。 ②手術準備が完了する。	①便秘がない ②発熱がない。 ③血圧が安定している。 ④術後の安静が保てる。 ⑤痛みや吐気などを看護師に伝えることができる。	①我慢できる痛みである。 ②トイレや洗面所まで歩くことができる。 ③発熱がない。 ④排ガスがある。	①病棟内を歩ける。 ②自分で排尿ができる。 ③発熱がない ④術後の便秘がない。	①自分で排尿が出来る。 ②発熱がない。 ③術後の便秘がない。 ④シャワー浴が出来る。 ⑤退院指導を受ける。	①退院指導が理解できる。
治療・処置	◆午前中、麻酔科の診察があります。 ◆午後、臍処置・除毛をさせていただきます。 ◆ストッキングのサイズを測定します。 ◆術衣をお渡しします。	◆朝、術衣に着替えてお部屋でお待ち下さい。 ◆午前中の手術の方は術衣と同時にストッキングも履いてお待ち下さい。 ◆午後からの手術の方は、回診時に点滴を始めます。 ◆(:)にトイレを済ませてベッドでお待ち下さい。 ◆(:)に気持ちを落ち着かせる筋肉注射をします。 ◆手術開始は、入室後麻酔や準備を得て1時間後くらいから始まります。 ◆手術後は、手術や麻酔後の管理のため、酸素マスク、心電図など必要な器具が装着されます。	◆午前中の状態を確認し、離床準備をしていきます。 (主治医の指示により、酸素マスクや心電図をはずします。) ◆歩行が出来ればストッキングをはずします。 ◆お腹の状態が安定しているのを確認し水分摂取を始めます。 (食事が再開し腹部症状を確認してから点滴を終了します。) ◆点滴が終わり次第針を抜きます。	◆血液検査があります。 	◆退院希望に沿って、退院計画をしていきます。 ◆退院前に、主治医による診察・内診があります。	
注射						
排泄	◆寝る前に、下剤を内服することがあります。	◆午前中、浣腸をします。 ◆手術室で、尿道の管を入れます。	◆尿道の管が入っています。	◆主治医の指示により、尿道の管を抜きます。(指示によっては、3病日以降に管を抜く場合もあります)	◆主治医の指示により、尿道の管を抜きます。(指示によっては、3病日以降に管を抜く場合もあります)	
清潔	◆臍処置・除毛後、シャワーをして下さい。 ◆爪の長い方はお切り下さい。 ◆手足の爪のマニキュアはお取り下さい。	◆当日お化粧は出来ません。 ◆指輪、眼鏡、コンタクトレンズ、時計、ヘアピン、義歯などを外して下さい。 	◆午前中に体を拭き、着替えます。	◆尿道の管が入っていてもシャワー可能です。(入浴は医師の許可があるまで控えて下さい)	◆シャワーのみ可能 湯船はつかれません。 	◆シャワーのみ可能 湯船はつかれません。
安静度(活動)	制限はありません。	◆筋肉注射の後はベッドで安静にして下さい。 ◆(:)に手術室(4F)にベッドのまま行きます。 ◆術後は翌朝までベッド上安静です。起き上がりや歩行は出来ません。寝返りは可能です。 ◆絶飲食ですが、うがいは可能です。	◆朝より、座位可能です。 ◆気分が悪くなければ、歩行可能です。術後初めての歩行の際は看護師が付き添いますのでナースコールでお呼び下さい。	◆病棟内歩行可能	◆院内歩行可能 	制限はありません
栄養(食事)	昼:普通食 夕:5分粥 ()時以降絶食	水分は()時まで、その後、絶飲食となります。	朝:水分可 昼:5分粥 夕:全粥食	朝:全粥食 昼~普通食	制限はありません 	
説明・指導	◆飲んでのお薬がありましたら看護師までお見せ下さい。 ◆手術同意書を看護師に提出して下さい。 ◆ショーツ1枚・夜用ナプキン1枚を看護師に提出して下さい。	【ご家族の方へ】 ◆手術開始1時間半前には病棟へお越し下さい。 ◆手術中は、病室でお待ち下さい。 ◆手術後、主治医より手術結果についての説明があります。 		◆尿道の管を抜いた後、しばらくおしっこが出にくいことがあります。状態によっては、看護師の導尿処置をしばらく受けていただくこともあります。	◆看護師より、退院後の生活についての説明をさせていただきます。 ◆排便後は、陰部の清潔を保つためウオシュレットをご利用下さい。 	◆退院について 4病日以降に、主治医より手術結果、退院診察、内診があります。この日より主治医の許可があれば退院可能です。退院日の希望がある方は看護師に相談下さい。

わからない事がありましたら、いつでもお聞き下さい。